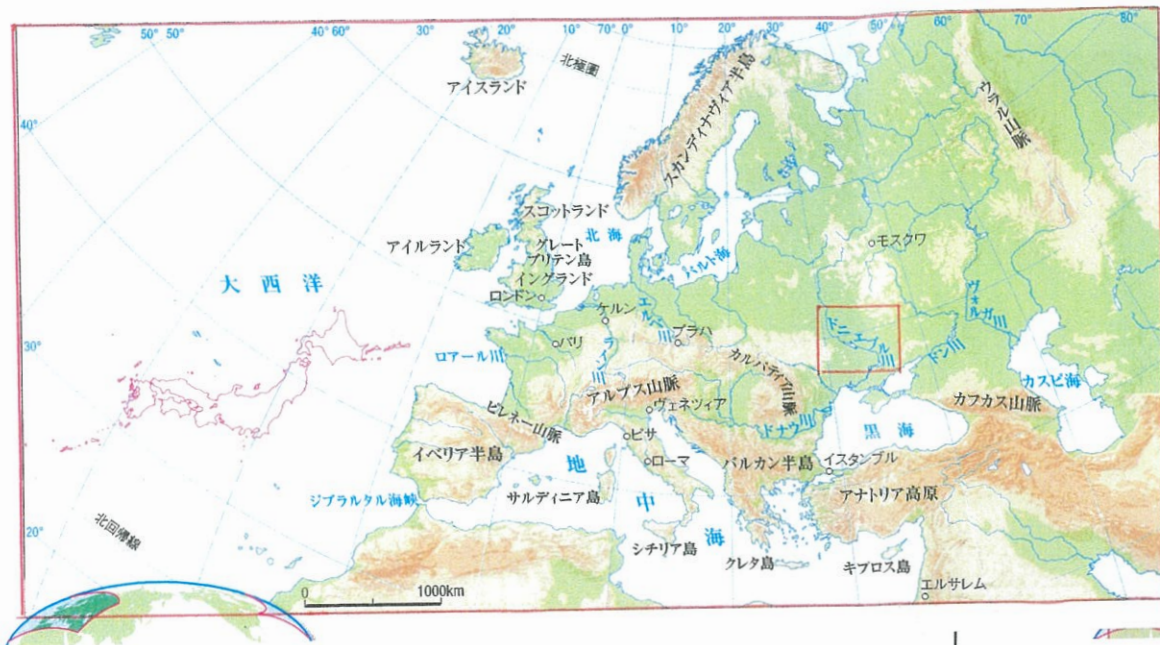


番号	訂正箇所		原 文	訂 正 文
	ページ	行		
1	82	地図	(添付別紙 1 参照)	(添付別紙 1 参照)
2	104	コラム「日本とのつながり」	(添付別紙 1 参照)	(添付別紙 1 参照)
3	247	地図「旧ソ連の15の国々」	(添付別紙 2 参照)	(添付別紙 2 参照)
4	247	地図「旧ソ連の15の国々」	(添付別紙 2 参照)	(添付別紙 2 参照)



2

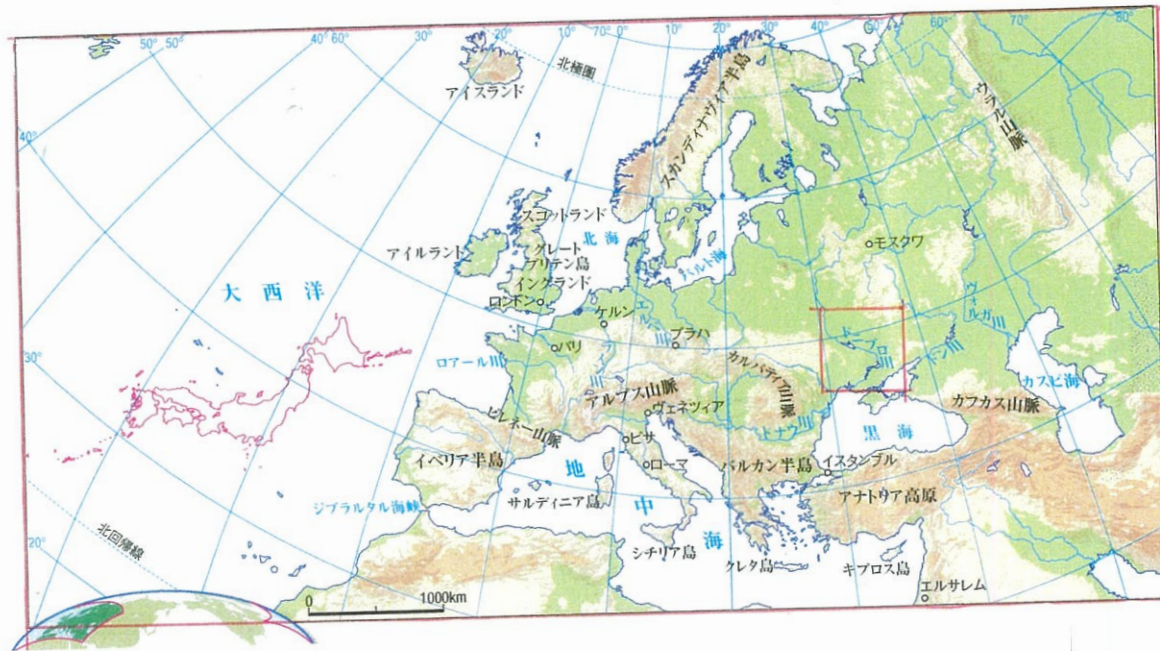
日本とのつながり 「神風」は吹いたのか？

フビライは南宋との戦いを有利に進めるため、日本に使者を送ったが、鎌倉幕府は返事を送らず、使者を処刑した。そこでモンゴルは1274年に日本へ進攻し、博多に上陸したが、1日で撤退した。1281年の二度目の遠征には、もと南宋軍の将兵が加わっていて、日本入植をめざしていたという。これらの戦いで「神風」は吹いたのだろうか。最初の進攻は太陽暦で11月26日のことで、モンゴル軍に加わっていた高麗の将軍が命令に反発したため攻撃が中止になった。二度目の進攻は8月のことで、九州の武士たちの抵抗と台風により攻撃は失敗した。近年有明海でモンゴルの軍船が発見され、堅固なつくりであったことが証明されている。

2

日本とのつながり 「神風」は吹いたのか？

フビライは南宋との戦いを有利に進めるため、日本に使者を送ったが、鎌倉幕府は返事を送らなかった。そこでモンゴルは1274年に日本へ進攻し、博多に上陸したが、約1か月で撤退した。1281年の二度目の遠征には、もと南宋軍の将兵が加わっていて、日本入植をめざしていたという。これらの戦いで「神風」は吹いたのだろうか。最初の進攻は太陽暦で11月26日のことで、モンゴル軍に加わっていた高麗の将軍が命令に反発したため攻撃が中止になった。二度目の進攻は8月のことで、九州の武士たちの抵抗と台風により攻撃は失敗した。近年伊万里湾でモンゴルの軍船が発見され、堅固なつくりであったことが証明されている。



日本 かみかぜ 「神風」は吹いたのか？
どのつながり

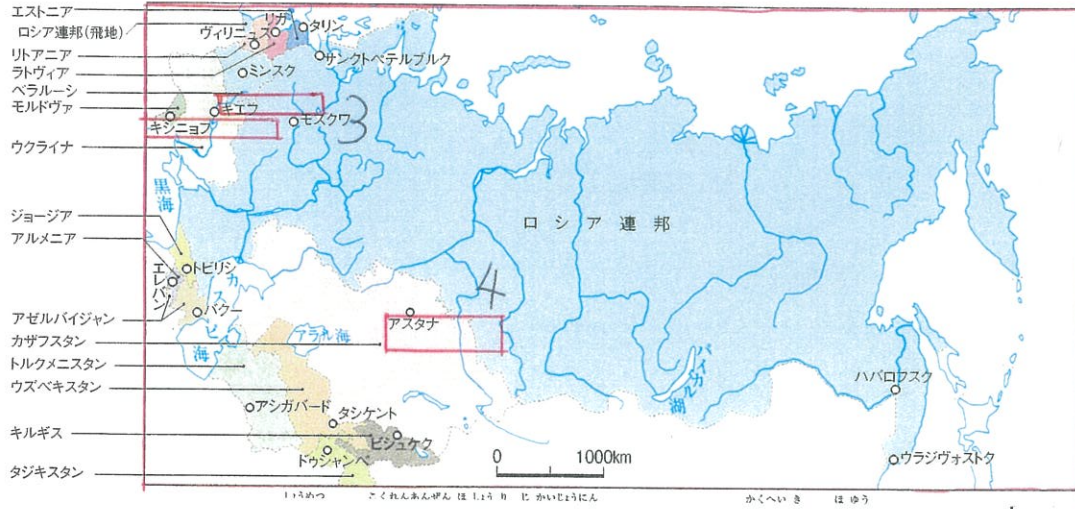
フビライは南宋との戦いを有利に進めるため、日本に使者を送ったが、鎌倉幕府は返事を送らず、使者を処刑した。そこでモンゴルは1274年に日本へ進攻し、博多に上陸したが、1日で撤退した。1281年の二度目の遠征には、もと南宋軍の将兵が加わっていて、日本入植をめざしていたという。これらの戦いで「神風」は吹いたのだろうか。最初の進攻は太陽暦で11月26日のことで、モンゴル軍に加わっていた高麗の将軍が命令に反発したため攻撃が中止になった。二度目の進攻は8月のことで、九州の武士たちの抵抗と台風により攻撃は失敗した。近年有明海でモンゴルの軍船が発見され、堅固なつくりであったことが証明されている。

2

日本 かみかぜ 「神風」は吹いたのか？
どのつながり

フビライは南宋との戦いを有利に進めるため、日本に使者を送ったが、鎌倉幕府は返事を送らなかった。そこでモンゴルは1274年に日本へ進攻し、博多に上陸したが、約1か月で撤退した。1281年の二度目の遠征には、もと南宋軍の将兵が加わっていて、日本入植をめざしていたという。これらの戦いで「神風」は吹いたのだろうか。最初の進攻は太陽暦で11月26日のことで、モンゴル軍に加わっていた高麗の将軍が命令に反発したため攻撃が中止になった。二度目の進攻は8月のことで、九州の武士たちの抵抗と台風により攻撃は失敗した。近年伊万里湾でモンゴルの軍船が発見され、堅固なつくりであったことが証明されている。

3.4



3.4

